

平成 30 年度 筑波大学向け寄付講義実施計画書

1. 授業科目名等

① 総合科目Ⅲ（全学3・4年次対象）

「地球環境変動と地球規模課題の科学論」 1 単位 春学期 A B モジュール 金曜 3 時限

回	日付	形態	内容	担当	備考
1	4/13	講義	寄附講義科目受講のための総合ガイダンス	鈴木石根 白岩善博 (筑波大学)	総合コーディネーター
2	4/20	講義	国連の地球規模課題 (Sustainable Developmental Goals: SDGs) の概説と取り組みの国際的現状	白岩 善博 (筑波大学)	TV/ビデオ授業を駆使する。
3	4/27	講義	地球規模の気候・海洋環境変動の科学	松下文経 (筑波大学)	
4	5/11	講義	海洋酸性化の仕組みとその影響解析の科学	Sylvain Agostini (筑波大学)	
5	5/18	講義	海洋環境変動による生理学および生態学的変動の科学—海洋動物	和田茂樹 (筑波大学)	
6	5/25	講義	海洋環境変動による生理学および生態学的変動の科学—海洋植物	白岩善博 (筑波大学)	
7	6/1	講義	生物多様性・森林の遺伝子攪乱と保全	津村義彦 (筑波大学)	
8	6/8	講義	里山の機能と持続的利用	門脇正史 (筑波大学)	
9	6/15	講義	水の世紀：緑のダムと青の革命	山中勤 (筑波大学)	
10	6/22	講義	山国日本：恵みをもたらす豊かな自然とその変調	廣田充 (筑波大学)	
			講義に関するレポートを課し、評価、単位認定		

② 総合科目Ⅲ（全学3・4年次対象）

「環境変動影響と持続可能社会構築の科学技術論」 1 単位 秋学期 A B モジュール 金曜 3 時限

回	日付	形態	内容	担当	備考
1	10/5	講義	寄附講義科目受講のための総合ガイダンス	鈴木石根・ 白岩善博 (筑波大学)	総合コーディネーター

2	10/12	講義	地球環境変動の生物影響—CO ₂ 濃度	白岩善博 (筑波大学)	
3	10/19	講義	地球環境変動の生物影響—温度	鈴木石根 (筑波大学)	
4	10/26	講義	地球環境変動の生物影響—有害元素・放射線	古川 純 (筑波大学)	
5	10/31	講義	地球環境変動と生物進化：生物多様性の創出	石田健一郎 (筑波大学)	
6	11/9	講義	持続可能社会構築の課題解決科学技術論—再生可能エネルギー概論	鈴木石根 (筑波大学)	
7	11/16	講義	持続可能社会構築の課題解決科学技術論—バイオマス・エネルギー	中嶋光敏 (筑波大学)	
8	11/20	講義	持続可能社会構築の課題解決科学技術論—食料	三浦謙治 (筑波大学)	
9	12/7	講義	持続可能社会構築の課題解決科学技術論—湖沼	松下文経 (筑波大学)	(外部：梶野 瑞王 (気象研))
10	12/14	講義	持続可能社会構築の課題解決科学技術論—地下水	辻村真貴 (筑波大学)	
			講義に関するレポートを課し、評価、単位認定		

※10/31(水)及び 11/20(火)は金曜日授業の曜日振替え

③ 総合科目Ⅲ (全学3・4年次対象)

「生命環境科学実習A」1単位 春学期Cモジュール 集中

- ・受講対象者：全学講義「総合科目Ⅲ」三菱UFJ環境財団寄附講義の受講者
- ・受講条件：実習A(実験)と実習B(研修)の両方の受講は基本的に認めない。ただし、定員に満たない場合は認めるので、応募に際しては、優先順位を明記すること。

実施日	形態	内容	担当	備考
集中	実験 実習	生命環境科学実習A 内容：海と山の環境学	田中健太・ 和田茂樹他 (筑波大学)	定員上限：10名

④ 総合科目Ⅲ (全学3・4年次対象)

「生命環境科学実習B」1単位 秋学期Cモジュール 集中

- ・受講対象者：全学講義「総合科目Ⅲ」三菱UFJ環境財団寄附講義の受講者
- ・受講条件：実習A(実験)と実習B(研修)の両方の受講は基本的に認めない。ただし、定員に満たない場合は認めるので、応募に際しては、優先順位を明記すること。

実施日	形態	内容	担当	備考
集中	研修	生命環境科学実習B		
		国内研修プログラム： 内容：環境科学研究機関・施設研修（研究施設視察、特別セミナー）	鈴木石根・ 白岩善博他 （筑波大学）	定員上限：10名。 TA配置、バス移動
		海外研修プログラム： 内容：海外の自然遺産、自然観察フィールド、海洋・海洋生物学の研究機関、極地研究機関などから選択して見学・研修を実施する。	鈴木石根・ 白岩善博他 （筑波大学）	定員上限：5名。 （海外研究機関、フィールド実験・研究センターなどと連携する）

2. シンポジウム等

① 「国際シンポジウム」(公開)(英語)

- ・本寄附講義受講生、筑波大学の学生、一般市民を対象とする「三菱UFJ環境財団寄附講義 国際シンポジウム」(英語)を実施する(主催もしくは後援)。
- ・地球規模課題と国際社会など、講義、実習テーマの関連課題を中心に、学術的、社会的重要性のあるテーマを設定し、海外招待講演者、国内招待講演者、筑波大学教員によるシンポジウムとする。パネル討論などを積極的に取り入れ、国内外の研究者による密な議論を展開し、単なる講演会とならないように工夫する。

② 「国内シンポジウム」(公開)(日本語)

- ・本寄附講義受講生、筑波大学の学生、一般市民を対象とする。
- ・地球規模課題と国際社会など、講義、実習テーマの関連課題を中心に、学術的、社会的重要性のあるテーマを設定し、環境重要課題の社会への広報や重要性、緊急性などをアピールする。

③ 公開フォーラム

- ・「三菱UFJ環境財団寄附講義」の受講生に対して、筑波大学・筑波研究学園都市協議会・つくば市主催の「つくば3E(環境・エネルギー・経済)フォーラム」及び「サイエンスツアー」(例年1月～2月に実施)への参加を推奨し、社会との連携を体験させ、その有効性や効果を実感させる。